

競技運営規程

1 大会運営 本大会の運営は、この規程による。

2 競技規則・運営規程について

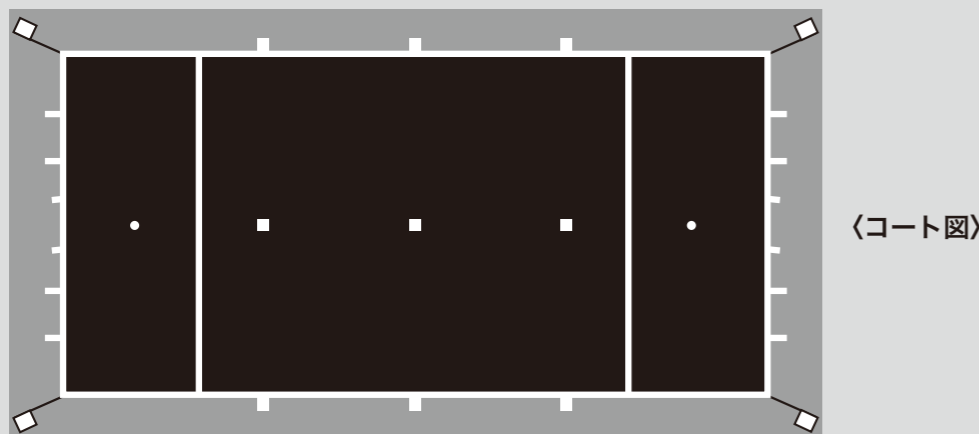
2024年度版(公社)日本ホッケー協会6人制競技規則に準じて行う。ただし、6人制競技規則には、「完全防具着用のGKをおかなければならない」と記載されていますが、**小学生・中学生・高校生の部**以外は、この規則を適用しない。

※競技規則・運営規程の確認について《重要》

- (1) ①センターラインを超えて攻撃側のフリーヒットについて、ボールが4メートル動かさず守備側選手がさわるまで**シューティングエリア**内にボールが入るようにプレイしてはならない。
- ②センターラインを超えて攻撃側にフリーヒットが与えられた後、時間が停止され、再開する場合には、両チームともにボールから4m以上離れなければならない。
- (2) 第50回大会よりPS戦を廃止してSO戦を実施いたします。このSO戦は1回SO(1人ずつのみ)となります。1回で決着がつかなければ決着がつくまで1人ずつで行います。同じ人が何回もおこなうことができます。3チーム戦(巴戦)になった場合はトスをして実施順を決定する(1-2⇒1-3⇒2-3)。なお3チームとも同勝利数の場合は、**2勝するチームが出るまで行う**。4チーム戦以上の場合はトスをしてトーナメントで行う。

※競技規則(ルール)の確認及び第59回大会適用ルールについて《重要》

- ① **【重要】【試験的ルール】**昨年に続き12mのサークルを廃止する。その代わり12mのシューティングエリア(直線)を設ける。また、12m以内のサイドラインから守備側がボールを出した場合は**16mの位置から行う**。攻撃側が出した場合は**ビハインドフリーヒットと同じ扱いにする**。なお、ペナルティーコーナーは通常通り行うものとする。下図参照。
- ② フリーヒット・ヒットイン・センターパスを直接あげることが可能。
- ③ センターパスは自陣エリアなので味方は4m離れる必要がない。
- ④ ゴールキーパーの装具について、高校生以下の種別は必ず完全防具を付けなければならない。ただし、一般種別以上はパワープレーということで11人制と同じように全員フィールドプレーヤーでもオーケーとする。ただし、**赤アンダーラインを入れること**。
- ⑤ コーナーの再開位置変更。ボールがバックラインを横切った地点の延長上で、バックラインから16mの地点からプレーが再開される。また、フリーヒットを行う手順が適用される。
- ⑥ **すべての種別において、「ハイスティックルール」の適用は行わない**。小学生の部においての**リバースヒットは従来通り、振りかぶって行うことはできない**。(フィールド上を滑らせて行うのはOK)
- ⑦ ペナルティーコーナーの「40秒計測」は行わない。ただし、速やかに行うこと。
- ⑧ **グリーンカードは1分の退場**。イエローカードは2分以上の退場。レッドカードは会場から退場とする。
- ⑨ ペナルティーコーナーのフライングは、11人制の競技規則に準じて行う。
- ⑩ 予選リーグの順位決定や決勝トーナメントの引き分け試合の場合は、**すべてSO戦とする**。



※競技運営規程(レギュレーション)の確認について

- ① **2023年4月1日より試合の成立については4人以上で成立となった。ただし、参加申込時は6人必要**。ただし、他チームから人員を借りて揃えることはいかなる理由があっても絶対に認めない。発覚した場合は、貸したチームも借りたチームもその時点で棄権とする。その場合の成績は下記②に準ずる。
- ② 試合時間に間に合わない場合はいかなる理由があっても棄権とする。その場合、すべて5対0となる。予選リーグにおいて途中であった場合、消化している試合も5対0となる。また、得点・アシストはすべて削除される。
- ③ 登録されていない選手の出場(替え玉出場)が発覚した場合は**厳重な処分を科せる**。当然次試合は棄権とし、得点関係は上記②に準ずる。

3 競技時間

全試合12分ハーフとする。
また、第52回大会より休けい時間はなくなり、給水のみでエンドを入れ替え、後半を開始します。《ご協力下さい》

4 延長戦

- (1) 延長戦は行わない。
- (2) 決勝トーナメントで規定の時間内に勝敗の決しないとき、及び、予選リーグで同率になり順位を決定するときは、**5、に定めるSO戦を行い勝敗・順位を決定する**。

5 SO戦による勝敗・順位の決定方法

- (1) 両チームの監督は、1名のシューターと1名のGKを指名する。
(選ばれるプレーヤーは、当該試合にエントリーされていれば誰でもよい。ただし、レッドカードを与えられたプレーヤーは除く)
- (2) 両チーム1名ずつのプレーヤーにより、交互に攻防を1回行い、勝敗を決定する。
- (3) (2)のSO戦においても勝敗が決しないときは、勝敗が決するまで行う。ただし、その場合のシューターは替えても替えなくてもよい。
- (4) 予選リーグにおける3チーム以上のSO戦については上記記載方法による。

6 リーグ戦における順位の決定方法

- (1) リーグ戦において、「勝点」の多いチームを上位とする。「勝点」は勝ちチームに3点、引き分けチームに1点、負けチームに0点をそれぞれ与える。
- (2) 「勝点」が同点のチームが複数ある場合、下記の順序に従って順位を決定する。
ただし、**4・5チームによる不規則(1チーム2試合)なリーグ戦において、「勝点」が同点の場合は、直ちにSO戦とする**。
1.「勝利数」の多いチーム 2.「得失点差」の多いチーム 3.「総得点数」の多いチーム 4.当事者同士の試合で勝った方のチーム
5.SO戦(この場合、大会本部で競技の進行を考え、時間とコートを決定するので、ご協力をお願いします)

7 その他

- (1) 荒天等で試合続行が不可能な状況の場合は、会場、時間の変更等、大会本部の指示に従うこと。
- (2) キャプテンマークは、腕か肩もしくはソックスの上部に印をつける。
- (3) 万一負傷等の事故があった場合、参加選手自身と、各チーム単位の責任において治療等を行うこと。
- (4) 選手交代は必ず記録席前で行うこと。
- (5) 審判員は原則1名で行なう。但し、試合の内容によっては、2名で行なう場合もある。これは大会本部で決定する。
- (6) 毎年、審判員が大変不足いたします。資格をお持ちの方、自信のある方は是非ともご協力をお願いします。
- (7) 今大会もホールサーバーの配置はありません。ボールが各コートフェンスから外へ出た場合はゲームTOがボールの配球をします。
- (8) 本規定に定めない事項については、大会本部の指示に従うこと。

大会表彰規程

優勝チーム表彰

**マスターズ男子の部(40歳以上・48歳以上・56歳以上・64歳以上・72歳以上)・マスターズ女子の部
一般男子の部・一般女子の部・高校男子の部・中学男子3年の部・中学男子1部・中学男子2部
中学女子3年の部・中学女子1部・小学男子1部・小学男子2部・小学低学年の部(男女混成)
小学女子1部・小学女子2部**

(賞状) 関西ホッケー協会 (優勝盾・特製メダル) 関西ホッケー協会

2・3位チーム表彰

(賞状) 関西ホッケー協会

個人表彰(各種別毎に)

- 得点王** 最多得点者には、特製メダルを授与する。
- アシスト王** 最多アシスト王には、特製メダルを授与する。
- GK王** 最小失点GKには、特製メダルを授与する。
但し、①決勝戦に出場したチームのGKであること。
②同チームの複数GKの失点は、複数GKの失点を合計し、他チームと競う。
また、そのチームからGK王を決める場合は少ない方とする。

※得点またはアシストが同点の場合 ①得点またはアシストの多い者を上位とする。
②①も同点の場合は、上位チームの者を上位とする。 ③②でなお同位の場合は、**同チーム内なのでチームで決定する**。
※GK王において、失点が同点の場合は、上位チームの者を上位とする。ただし、GKが複数のチームは失点を合算する。なお、同位の場合は同チームなのでチームで決定する。

●**表彰について** 各種別の決勝終了後、1階記録本部横の表彰室ですみやかにまいりますのでご協力をお願いいたします。表彰式の開始時間については、放送でアナウンスします。